

11月定例山行 三瓶山 1126m 島根県太田市

11月4日(土)～5日(日) ☆天候 晴

参加者 15名 CL 三重(成) SL 佐々木(敏)

松尾、若木、中島(康)、三重(典)、小寺、原田、村島、竹野(栄)、
宮木(澄)、村田、坂井、田村、上別祖

コースタイム

4日：広島8:30→大朝9:30→石見銀山11:00→三瓶埋没琳公園15:50→かんぼの宿17:30

5日：かんぼの宿7:45→西ノ原8:00→男三瓶10:00→女三瓶11:15→大平山12:10(昼食)

13:00→孫三瓶13:30→子三瓶14:10→西ノ原分岐14:50→下山口15:30→

西ノ原15:50 西ノ原発16:10→大朝17:30→広島18:30



4日(土)

石見銀山の龍源寺間歩では観光ガイドの説明を聞きながら歩く。鉱脈に沿って彫った跡、壁に刻んだノミの跡、等昔の抗夫たちの苦勞がしのばれた。間歩を出て町並みまでの2.3kmを散策しながら歩く。昔の町並みに復元された町を各自散策。その後、三瓶埋没琳公園に。ここでは公園の管理人の説明により地下に埋まった大木を見る。立つたまま埋ま

った大木や火砕流による大きな流木等火山活動の大きさを実感し、感動した。「間歩(まぶ)とは銀を掘るための抗道をいいます。」

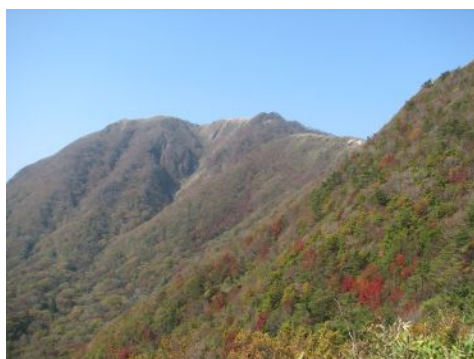
5日(日) 三瓶山登山 天候 快晴

西ノ原を8:00出発、林の中のジグザグ道をひたすら歩く。標高900mあたりから眺めが良くなったが、風が強くなり体が冷えてきた。1000m 過ぎ

で風除けのヤッケを着、頂上を目指す。予定より5分遅れで男三瓶頂上に着く。しばし休憩。男三瓶～女三瓶の間、下見のときは、前日が雨のためガレ場道が滑りやすく危険な所が多くあったが本番では登山道が乾いていたので楽であった。連休の為登山者が多く、すれ違うための待ち時間が約30分多くかかった。大平山12:10 着昼食。大平山から見た、男三瓶～室の内池あたりの紅葉は見応えがあった。孫三瓶のふもとまでは平坦な道で食事後の腹ごなし気分で歩く。室の内池分岐から急登、食後の登りは「しんどいなー」と言いながら登る。やっと頂上、子三瓶への急登を控えしばし休憩。子三瓶へのガレ場の急登は多少時間が掛かったが頂上での眺めの良さでしんどかった事も忘れた。下山途中の赤雁山からの全山紅葉のながめは三瓶山一の見所で感激した。15:50 西ノ原着、全員完歩できまずまずの山行であった

良かった点

1. 石見銀山、三瓶埋没琳、などの観光



を入れた事、ことに埋没琳は全員が感動していた。

2. 三瓶山はゆつくり山行で紅葉を堪能した。

反省点

1. 計画書作成時、季節及び連休など諸条件により経費が高くなることを考慮し予算を立てる。(今回は当初の予算よりオーバーし参加者にはご迷惑をかけました。)
2. 連休などでは登山者が多いことを想定し山行時間を多く見積もる事、等いろいろ反省点の多かった山行であった。(記 三重 成彦)

一口感想

- 三瓶山、前日の観光ともに感動しました。なかなか中味の濃いとても感謝の山行でした。また、アルプス並みのきれいな景色が楽しめ、とてもいい思い出の山行でした。(k)
- 紅葉も色々な角度で随分違って見えたのには驚きました。ゆつくり歩くのも、キョロキョロ出来楽しかったです。石見銀山、三瓶埋没琳公園は今度家族にも見せたいです。(H)

